

(仮称)沖縄市多目的アリーナ施設等整備 全体計画調査業務報告書【概要】



(仮称)沖縄市多目的アリーナの考え方

H27. 3

メインコンセプト

「未来を創り、地域を活性化するアリーナ」
夢を与え、感動を与え、未来を創っていく ～

基本構想

- ①バスケットボールを中心としたスポーツ興行を開催する「**観せる**」施設
- ②各種コンサート、コンベンション等を開催する「**使いやすい**」施設
- ③観客満足度を高め、より多くの事業主体に利用される「**一万人規模**」の施設

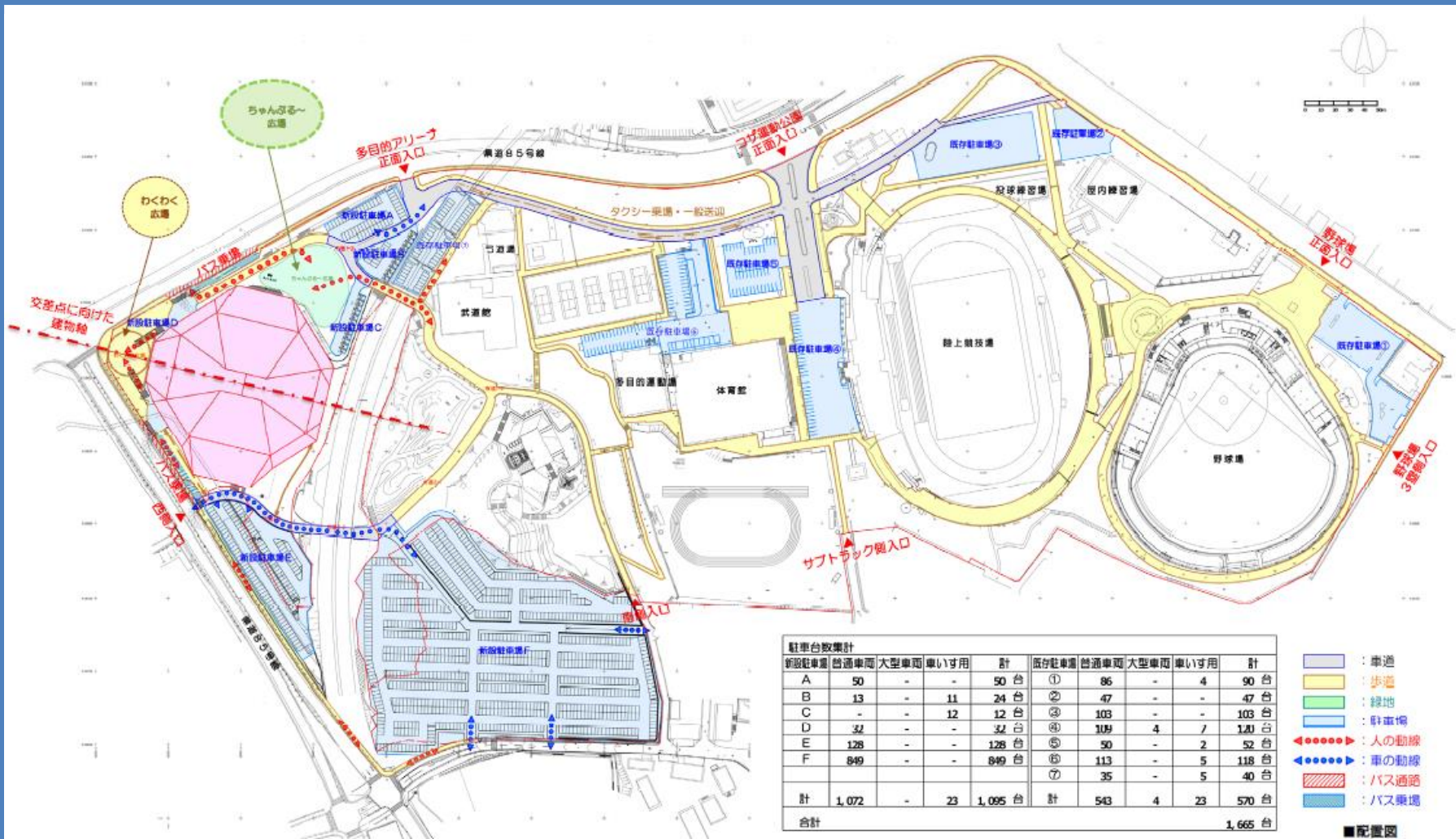


H28. 6

全体計画

- ①多世代・国際交流が図られる施設づくり
- ②「観るスポーツ」の機会を充実させる施設づくり
- ③ 防災施設としての機能を充実させる施設づくり

(仮称)沖縄市多目的アリーナの配置計画



駐車場は従来の570台から**1,665台**に拡大して整備。さらなる拡大を検討

(仮称) 沖縄市多目的アリーナ整備事業の取り組み

平成26年度
(事業開始年度)

- 基本構想の策定

平成27年度
～平成28年度

- 全体計画の策定
(基本計画)
(基本設計)

平成28年度
(本年度)

- 実施設計の策定

平成29年度

- 工事着工
(予定)

(仮称)沖縄市多目的アリーナ整備スケジュール(イメージ)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
①基本構想	→							
②全体計画		→						
③実施設計			→					
④工事				→	→	→		
⑤供用開始							→	

(仮称)沖縄市多目的アリーナ概算事業費(案)

構造 : 地上5階 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨)
面積 : 26,200m²

(単位:千円(税抜き))

	本体工事	工事費
1	建築工事費	6,485,510
2	電気設備工事費	2,176,287
3	空気調和設備工事費	1,355,000
4	給排水衛生設備工事費	688,363
5	諸経費	1,816,684
	小計	12,521,844
6	大型映像・リノベーション	1,050,000
	合計	13,571,844

(仮称)沖縄市多目的アリーナ概算事業費(案)

構造 : 地上5階 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨)
面積 : 26,200m²

(単位:千円(税抜き))

	その他関連工事	工事費
1	外構工事費等	416,300
2	駐車場整備工事費等	605,197
3	物件補償費	34,012
4	用地費	1,229,150
	合 計	2,284,659

スポーツの成長産業化

スポーツには、人を夢中にさせ、感動させる魅力がある。世界では、スポーツが産業として目覚ましい発展を遂げている例もある。(中略)

人を惹きつける力があるということは、ビジネスで言えば集客力がある、ということである。単に、観戦して帰る、ということでは終わらせるのではなく、持てる集客力をどうにかすのか、マーケティングの視点を持たば、我が国でもスポーツを成長産業へと転換させていくことが可能である。

地域に人が集まる、それは、地域活性化のキーワードである。スポーツを核に地域活性化を進める。一つの有力なアイデアである。スタジアム・アリーナをどこに立地し、地域内外からの人を地域のどこに集客することが良いのか。試合がある日、一時のスポーツ観戦のみならず、周辺エリアも含めて一体的に捉え、スポーツを核にしながらかその「場」でこういったエンターテインメントや思い出となる出来事を提供するのか。まちづくり的な視点、「モノ消費」から「コト消費」への転換といった視点が重要である。

スタジアム・アリーナ改革（コストセンターからプロフィットセンターへ）

① スタジアム・アリーナに関するガイドラインの策定

スポーツ観戦の場となる競技場や体育館等について、観客にとって何度も来たくなるような魅力的で収益性を有する施設（スタジアム・アリーナ）への転換を図るため、施設の立地・アクセス、規模、付帯施設、サービス等、整備や運用に関するガイドラインを、本年度中に取りまとめる。また、ガイドラインの作成と具体的な施設の整備・運営に官民共同で取り組むべく、官民連携協議会（仮称）を早期に立ち上げる。

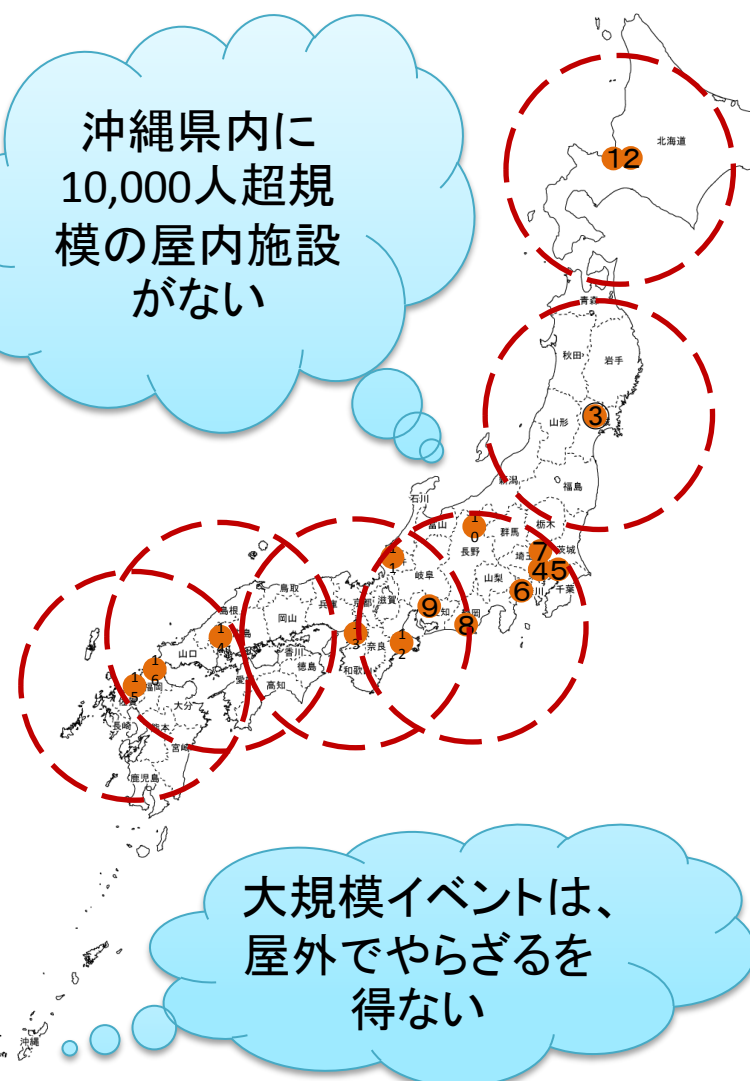
② 「スマート・ベニュー」の考え方を取り入れた多機能型施設の先進事例の形成支援

単機能型のスポーツ施設ではなく、公共施設や商業施設などとの複合的な機能を組み合わせるなど、周辺のエリアマネジメントを含めた、持続可能な交流施設としてのスポーツ施設（いわゆる「スマート・ベニュー」）について、国内外の先進事例も参考に、こうした考え方に基づく施設の設置に取り組む地方公共団体に対する専門家派遣などの国の支援措置を速やかに検討し、その具体化を図る。その際、PPP／PFIの活用について、優良事例の横展開を図るとともに、公共施設等運営権方式を含め、多機能型施設の先進事例の形成に向けノウハウの提供等の支援を実施する。

全国主要屋内施設（22施設、300km圏内）

沖縄県内に
10,000人超規
模の屋内施設
がない

大規模イベントは、
屋外でやらざるを
得ない

- 
- ①真駒内アイスアリーナ(北海道札幌市) 11,524人
 - ②北海道立総合体育センター(北海道札幌市) 10,000人
 - ③仙台市体育館(宮城県仙台市) 10,000人
 - ④日本武道館(東京都千代田区) 14,471人
代々木競技場第一体育館(東京都渋谷区) 13,243人
両国国技館(東京都墨田区) 11,098人
東京体育館(東京都渋谷区) 10,000人
有明コロシアム(東京都江東区) 10,000人
 - ⑤幕張メッセ展示ホール(千葉県千葉市) 15,000人
 - ⑥横浜アリーナ(神奈川県横浜市) 17,000人
 - ⑦さいたまスーパーアリーナ(埼玉県さいたま市) 37,000人
 - ⑧エコパアリーナ(静岡県袋井市) 10,000人
 - ⑨日本ガイシホール(愛知県名古屋市) 10,000人
 - ⑩長野エムウェーブ(長野県長野市) 20,000人
 - ⑪サンドーム福井(福井県越前市) 10,000人
 - ⑫三重県営サンアリーナ(三重県伊勢市) 11,000人
 - ⑬大阪城ホール(大阪府大阪市) 16,000人
大阪市中央体育館(大阪府大阪市) 10,000人
 - ⑭広島グリーンアリーナ(広島県広島市) 11,000人
 - ⑮マリンメッセ福岡(福岡県福岡市) 15,000人
福岡国際センター(福岡県福岡市) 10,000人
 - ⑯北九州市立総合体育館(福岡県北九州市) 10,000人

沖縄県内 類似施設

北中城多目的アリーナ(計画中)
【規模】約3,000人規模
【主な利用】スポーツ、地域交流

沖縄コンベンションセンター
【規模】約5,000人規模
【主な利用】
学会、合同説明会、コンサート等

(仮称)沖縄市多目的アリーナ(計画中)
【規模】約10,000人規模
【主な利用】スポーツ興業(琉球ゴールデンキングス公式戦等)、コンサート等

浦添スポーツアリーナ(計画中)
【規模】約4,500人規模
【主な利用】
コンサート、スポーツ等

沖縄県大型MICE施設(計画中)
【規模】約27,000人規模
【主な利用】5,000人規模会議、アジア等の大型学会、コンサート等



収支シミュレーション(指定管理者制度の活用を想定した場合)

【収支シミュレーション：指定管理者の収支】

○ 沖縄コンベンションセンターの平成25年度の事業支出・事業収入を参考

- ・ 展示棟(イベント開催等:112回/年)(稼働率:44.2%)
- ・ 劇場棟(イベント開催等:128回/年)(稼働率:42.9%)
- ・ 会議棟(イベント開催等:196回/年)(稼働率:44.8%)

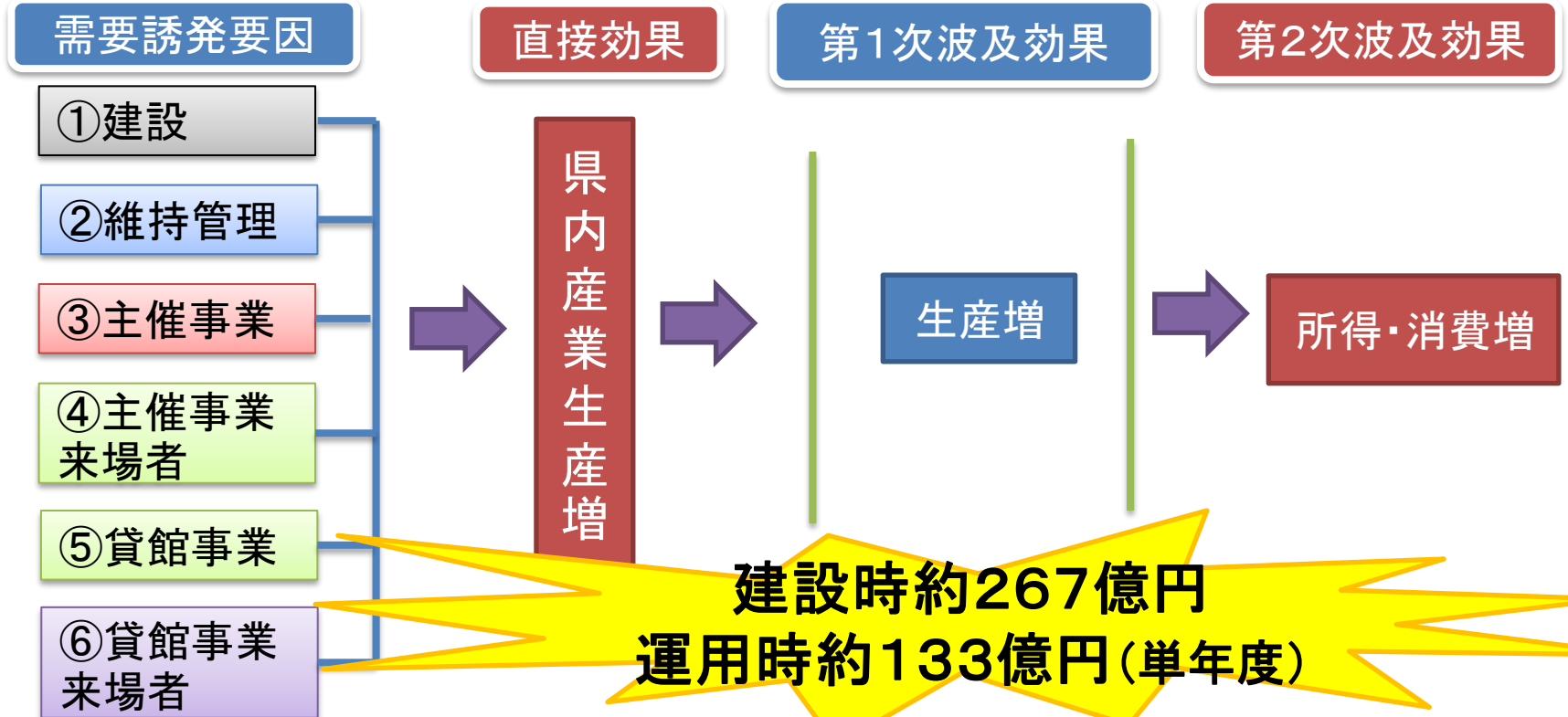
本市アリーナは、上記展示棟に最も類似すると想定され、事業回数を120回と設定。

(※利用料は、展示棟の収入実績を回数で割戻した額(約112万円)を、規模が倍になることにかんがみ、約2倍とし、1回200万と想定。福岡国際センターやゼビオアリーナ(宮城県)も同等もしくはそれ以上の料金。)

事業支出		事業収入	
修繕費	40,000千円	利用料金収入	240,000千円
施設管理・保守点検等費	170,000千円	自主事業収入	25,000千円
水光熱費	70,000千円	一般利用収入	15,000千円
事務費(人件費)	50,000千円	広告収入	5,000千円
		ネーミングライツ収入	5,000千円
		指定管理料(市支出)	40,000千円
合計	330,000千円	合計	330,000千円

アリーナにおける経済波及効果

本アリーナが整備・運営することによる波及効果は、県内各産業部門で誘発された生産額の増(直接効果)とそこからさらに誘発される原材料などの生産増(第一次波及効果)、さらに雇用者の所得増に伴う消費増大から誘発される生産増(第二次波及効果)などが考えられる。



完成イメージ(北東側アイレベル)



外観イメージ(東側アイレベル)



(仮称) 沖縄市多目的アリーナ (検討事項: 事業スキーム)



興行主によるイベント(例)



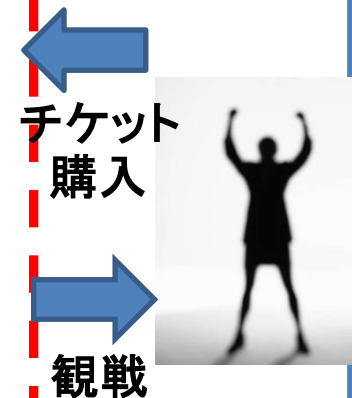
バスケットボール



コンサート



展示会



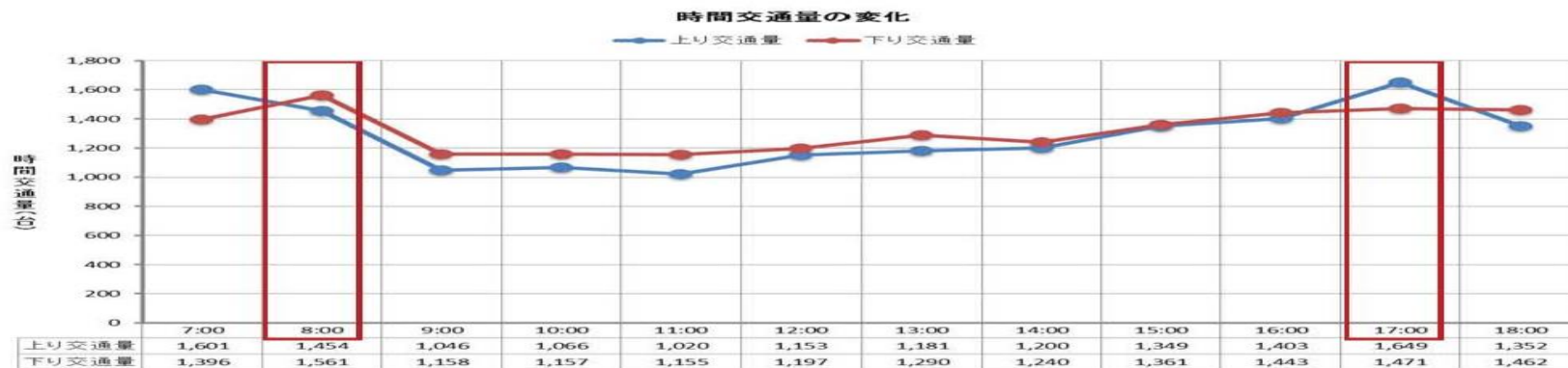
(仮称)沖繩市多目的アリーナ(検討事項:トイレ)

施設名	トイレ(更衣室を除く)			
	トイレ(男大)	トイレ(男小)	トイレ(女)	トイレ (その他)
沖繩市体育館	12	24	21	3
ミュージックタウン 音市場	4	10	17	1
沖繩市多目的運動場	1	2	3	1
沖繩市民会館 大ホール・中ホール	7	28	34	3
沖繩市 多目的アリーナ	31	57	83	5
沖繩 コンベンションセンター (展示棟)	15	42	33	4

(仮称) 沖縄市多目的アリーナ(検討事項: 交通手段)

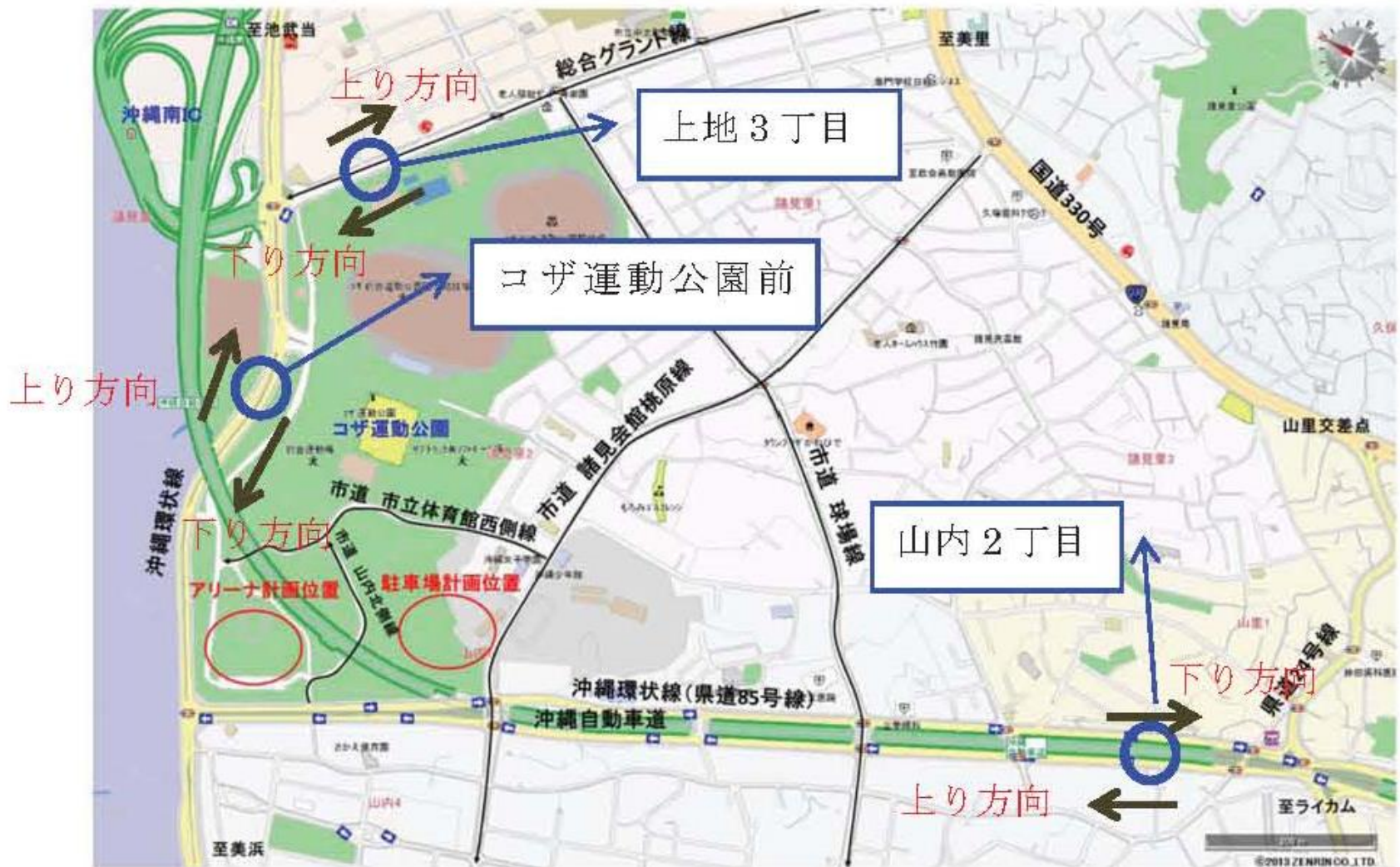
■ アリーナ周辺道路のピーク時及びその交通量

路線名	箇所名	上り	下り	合計
沖縄環状線	コザ運動公園前	17 時台 1,649 台	8 時台 1,561 台	17 時台 3,120 台
	山内 2 丁目	17 時台 608 台	16 時台 614 台	17 時台 1,210 台
総合グランド線	上地 3 丁目	18 時台 484 台	7 時台 603 台	17 時台 1,049 台



■ 交通量の時間変動(コザ運動公園前)²

(仮称) 沖縄市多目的アリーナ(検討事項: 交通手段)



アリーナを中心としたまちづくり ～アリーナ建設だけでは終わらない～



今後の課題

- アリーナを核とした
中心市街地との連携
- 渋滞対策
(県道拡幅、駐車場の充実等)
- 宿泊等関連産業との連携

息長く取り組んで行くことが重要！

参考「マツダZOOMZOOMスタジアム周辺」